

平涼の狀
況

鎮に土寨を認む其れより涇河の沿岸に、牧羊の盛なるを見たり。

二十七日郭家庄、打虎溝、郿家鎮、劉家寨、四十里堡を経て一小河を渡り、穆洞、三十里堡を過ぎて趙家庄に出るや、路邊花崗石の露出するものを見たり。煩霧溝を過ぎて二十里堡に達すれば、其附近、柿桑多く、次で十五里堡を経行程約十里、平涼に着す。蓋し十五里堡以西は牧羊盛なるか如し。

平涼は街道有数の市街にして、戸數三千有餘、磚製の城壁之を圍み、官衙には府衙門、縣衙門、警察局、釐金局、郵便局、電報局等、公所には陝西會館觀るべく、陝西の豪商多く此處に住めり。人情質朴、風俗亦陝西に同じ。宗教は回教徒の數實に住民の六分を占め、耶蘇教は、二名の英國宣教師の下に二箇の福音堂を建て、日々布教に勉むるも、信徒僅に二十有餘に過ぎずと。此の地貧家の小兒は一般に褌(衣下)を穿たしめざることを朝鮮の小兒の如し。惟ふに寒地なるか故に幼時より寒氣に慣れしむる爲めならんか。

二十八日、八里堡、十五里堡、河貝子塘を経て安國城に到る牧羊者多し。蒿店は其南方數丁の地に山林を有し、騾鞍其他木具、籠筐類を製出す。次で三關口、清水溝を